

令和6年度 さいたま市立針ヶ谷小学校 第2回学校運営協議会議事録

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 場 所                         | 針ヶ谷小学校 会議室  |
| 日 時                         | 令和6年10月25日(金) 午前11時30分～12時30分   |
| 出席者                         | <p>学校運営協議会委員 13名</p> <p>私立ひかり幼稚園長、育成会副会長、領家7丁目自治会長、主任児童委員、大原中学校長、針ヶ谷小PTA3名(会長、副会長2名)、針ヶ谷小学校5名(校長、教頭、教務主任、学校地域連携コーディネーター、事務職員)生涯学習振興課2名、放課後児童課等3名</p> <p style="text-align: right;">合計 18名出席</p>   |
| 議 事 録                       |   |
| 1 開会の言葉<br>・委員長             | ・子どもたちのため、活発な協議をお願いします。   |
| 2 放課後居場所事業について<br>・放課後児童課   | <p>○「放課後子ども居場所事業」について</p> <p>・令和6年度から4校に設置。針ヶ谷小では令和7年度から設置する。(校内の空き教室を利用する。)</p> <p>・希望するすべての児童を対象に安心安全な放課後の居場所を提供し、児童の健全な育成を図る。</p> <p>・運営事業者についての質問・・・実績がある事業者に委託する予定。</p>  |
| 3 校長あいさつ                    | <p>・音楽会にご参観いただきありがとうございました。</p> <p>・教職員の欠員状況についての説明。子ども達の学びはしっかりと保障していく。</p>  |
| 4 令和6年度の学校行事について<br>・教頭     | <p>・今年度の児童の学習活動や教職員研修等について紹介する。(第1回目の協議会での紹介に2学期の活動を付け加えて説明する。)</p>   |
| 5 学校自己評価システムシート等について<br>・校長 | <p>○学力向上ポートフォリオについての説明</p> <p>①学力</p> <p>・2つの学力・学習状況調査を行っている。</p> <p>②安心安全</p> <p>・リフレッシュ工事の関係で、校内の動線が変更された。また、教職員の目が届かない場所に配慮している。</p> <p>・あいさつの励行、スマイル相談日、Sola部屋の活用についての説明。現在、不登校、教室に入れない児童対応等に対応している。しかし、Sola部屋の対応教員がいないため、人員の確保が課題である。</p> <p>③地域とともにある学校</p> <p>・5年生の男子が積極的に地域の中で活動している。少しずつ広がってきている。</p> <p>・校内の緑化の整備を進めていく。</p> <p>④教職員の資質向上</p> <p>・研修を進めている。</p> |

|  |  |
|--|--|
| <p>6 あいさつができる子の育成について②【熟議】</p> <p>7 閉会の言葉<br/>・委員長</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革については、勤務時間外の在校時間は減少してきている。しかし、45分間の休憩をとることが難しい。保護者対応や成績処理をせざるを得ないのが現状である。</li> </ul> <p>○1学期に引き続き、「あいさつ」をテーマに3グループに分かれて熟議を行う。</p> <p><b>1班</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつポスターや標語を募集して、地域の中に掲示する。</li> <li>・ボランティア・・・公民館での子どもと大人のふれあい。地域であいさつ運動をする。(実際に防犯ボランティアの方々は下校時に声をかけてくださっている。)</li> <li>・学校だけでなく地域の中でもあいさつスローガンを募集し、横断幕等にして啓発する。</li> </ul> <p><b>2班</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつは、なぜひつようなのか。挨拶し続けることが大事。</li> <li>・地域行事の中で子どもとふれあって、自然とあいさつが交わせるようになっていく。</li> </ul> <p><b>3班</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつの必要性について考えた。地域との連携が重要。</li> <li>・地域行事に積極的に参加し、地域の中で褒められる経験を積み重ね、自己肯定感を高めていくとよい。是非、そのためにも地域から予算協力を得たい。</li> <li>・大原中では足立神社の秋祭りに屋台で参加し、地域の方々と触れ合った。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中であいさつが増えていくようにしたい。</li> </ul> |
|--|--|